



コロンビア国：デジタルプラットフォームを活用したルーメン微生物フローラと草地管理の最適化による牛肉バリューチェーン創出プロジェクト



AGROSAVIA
Corporación colombiana de investigación agropecuaria



NAGOYA
UNIVERSITY



7月14日～18日、**SATREPS 牛肉プロジェクトの現地活動週間及び、第3回合同調整委員会が、コロンビア農牧研究公社 (AGROSAVIA) トゥリパナ研究センターで開催**されました。



7月18日、JICA コロンビア山田章彦支所長を始め、サンドラ・リベロ AGROSAVIA 計画・組織協力部長、コロンビア畜産連盟 (FEDEGAN) マヌエル・ゴメス持続可能なコロンビア畜産部長、国際農業研究協議グループ・国際熱帯農業センター (CIAT) ルス・ムニョス代表が合同調整委員会に参列しました。日本からは、名古屋大学と中部大学の教授・研究者らが出席し、更に、在コロンビア日本国大使館やコロンビア農牧院 (ICA) もオブザーバーとして参加しました。



プロジェクトメンバーは、期待される4つのプロジェクト成果及び、それぞれの進捗状況

と目標達成に向けた今後の取り組みについて発表し、ミニッツに署名を行いました。

7月16日、プロジェクトメンバーは、畜産環境が異なる2つの牛肉生産農家を訪問しました。一つ目は先進技術を取り入れ、林換放牧や環境認証等も取得している大規模農場。もう一つは技術支援を受けながら、より持続可能な畜産を着実に導入している家族経営の農場でした。



7月15日には、小規模農家とワークショップ「牛の栄養とグローバル技術」を実施しました。コロンビア産の牛肉トレーサビリティについて、品質と

持続可能性を確保し、新たな国際市場への扉を開くための取り組みについて紹介されました。ワークショップを通して環境に配慮し、技術を活用しながら高品質な牛肉を生産する

ことは、コロンビアの畜産の未来にとって不可欠であるということを学びました。

JICA コロンビアは、コロンビアの持続可能な畜産を推進していきます!!



プロジェクト概要は、こちらの QR 字コードから



JICA コロンビア支所 Facebook

